



2008 LPGA PHOTOGRAPHER MEDIA CREDENTIAL REGULATIONS

以下の規則は、LPGAによって協賛あるいは認可されたイベントを含む、しかしその限りではないLPGAのイベントへのアクセスとしてLPGAフォトグラファーメディア資格証明を使用する各フォトグラファー及び事業体に適用される。

1. 資格&アクセス

- a. LPGAが承認するニュースメディア局/社あるいはLPGAが受け入れるメディア局/社に取材任務のある公認フォトグラファーは、アクセスを得たLPGAイベントの取材目的のためにLPGAフォトグラファーメディア資格証明を受ける資格を有する。LPGAはメディアとして特定の任務を持たない写真代理店、またはフリーランサーは承認せず、独自の判断で誰がLPGA承認か否かを定める。
- b. LPGAのイベントへのアクセスを求める全てのフォトグラファーは、フォトグラファー自身及び代表するニュースメディア局/社の編集者の両方が署名したLPGAフォトグラファーメディア資格証明の申請書を提出しなければならない。フリーランスフォトグラファーは特定のイベントへの取材任務があること、またLPGAフォトグラファーメディア資格証明の申請書と共に、取材任務の証明書原本を提出しなければならない。
- c. 申請書に署名することで、フォトグラファー及び事業体はLPGAフォトグラファーメディア資格証明の規則と、取材する当LPGAのイベントにアクセスするための、制限のある非独占的及び譲渡不可のライセンスを受諾し合意する。各フォトグラファー及び/あるいは事業体によって撮影される全ての写真（現在知られているか今後考案されるいかなる媒体においてものスクリーン写真を含む）の初回の使用及び/あるいは再使用は、これらの規則に支配される、但し、万一上述のフォトグラファー及び/あるいは事業体がLPGAイベントに関してLPGAとの別の同意書を有している場合はいかなる対立が起こった場合もその別の同意書の条項が優先される。専門家用のカメラやレンズで写真撮影の資格を発行された公認メディア代表者のみが撮影するものとする。常に騒音を出さない機材を使用しなければならない。
- d. さらに、各フォトグラファー及び事業体は、LPGAコミュニケーションズ部門を通して入手できるすべてのイベントに先駆けてあるいは開催中になされるLPGAによるいかなる修正をも含む、LPGAフォトグラファーメディア資格証明の規則に従うことに合意する。全てのフォトグラファーは、出席する各イベントの前にこれらの規則の修正があるかどうかを確認する必要がある。以下の規則は、LPGAによって協賛あるいは認可されたイベントを含むLPGAのイベントへのアクセスとしてLPGAフォトグラファー資格証明を使用する各フォトグラファー及び事業体に適用される。

2. 写真の使用

- a. LPGAのイベントで撮影された全ての写真は、資格証明が発行された特定ニュースメディアの局/社のみでしか使用してはならず、また写真が撮影された特定のLPGAイベントのニュース報道以外の目的で使用してはならない。そのような写真の公表は、印刷及び/あるいは通信オンライン出版、関連または子会社のニュース局/社、かかるイベント情報を報道目的のみでライセンスし、あるいはシンジケートしているニュース放送局で、LPGAフォトグラファーメディア資格証明の申請書に国及び言語が明記されているニュースメディア局/社を含む報道使用のみに限られる。貴方がLPGAと資格証明を受けているニュースメディア局/社の両方から書面での承認を得なければ、LPGAイベント関連で撮影した写真を他の方法で、あるいは他のニュースメディアの局/社で使用することは厳しく禁じられている。
- b. LPGAフォトグラファーメディア資格証明及び与えられたアクセスの代わりに、LPGAは世界中いかなる形式においても（現在知られているか今後考案されるかにかかわらず）、追加の費用をかけることなく、LPGAとLPGAのイベントの非商業的なプロモーションのために、無制限、無期限、非独占的に、LPGAで撮影された写真を使用（サブライセンスで使用許可を出すことも含む）する権利を有するものとする。LPGAが上述の写真を商業的なプロモーションのために使用することを望んだ場合、LPGAは、資格証明関連で撮影された写真の業者、ライセンスのスポンサー、LPGAのために、第三者から同じレベルでの写真の最高の金銭的価値より20パーセント（20%）少ない金額で購入する独占権を有するものとする、万一そのような価値が明白でない場合は、当条項2(b)の意図に合う商業的に妥当な金額を対象にする。さらに、各フォトグラファー及び/あるいは事業体は、LPGAに追加の費用をかけることなく受領後丁寧迅速な方法で、LPGAより要請された解像度及び媒体での写真あるいはデジタルファイルを供給することに合意する。当条項2(b)に準じて与えられた全ての権利は、かかる権利の所有者の別の同意書次第でのみ効力を持つことになる。
- c. 当規制の中には、LPGAあるいは第三者の知的所有権を使用するライセンスを与えるもの、あるいはこれだけに限定されないがLPGAの選手あるいは見学者を含む、いかなるLPGAのイベント参加者の名前や肖像をも使用する許可を与えるものは何もない。各フォトグラファー及び/あるいは事業体は、いかなる写真や資格証明に関連して入手したその他の素材に関しても、当事者の著作権、商標、広報権、プライバシー保護、あるいはその他の個人的権利を含む当事者の独占的素材を使用するために必要なライセンス、同意、リリースの許可を得なければならない。さらに、上述のフォトグラファー及び/あるいは事業体のみが、どのようなライセンス、同意、リリースを得るか決定する責任がある。

2008 LPGA PHOTOGRAPHER MEDIA CREDENTIAL REGULATIONS CONTINUED

- d. LPGA写真フォトグラファーメディア資格証明が発行されたフォトグラファー及び/あるいは事業体によって創り出される派生物（これだけに限定されないが、商業的使用、広告、販売促進、マーケティング、マーケティングデザイン、あるいは転売目的を含む）も含んだいかなるLPGAイベントに関する二次的な編集使用ではないもの、商業目的での使用、展覧、再生、展示、改作、パフォーマンスあるいは出版は、報道関連、編集上の目的での使用以外にはLPGAから前もって特定した書面での承認なしには厳しく禁止されている。これらの規制の目的として、“編集上の記事”あるいは“ニュース関連”の目的は、報道価値のあるイベントの描写や叙述、あるいはそのようなイベントの関連情報、及び承認されたニュース局/社への流布のみを意味する；当規制でも禁止されているが、この定義は、以下に限定されないが広告、販売、プロモーション、マーケティング、マーケティングデザイン、コマーシャル、コマーシャルとのタイアップ、あるいは特に肖像を編集目的ではない理由や商業目的で使用第三者への肖像使用許可を含むいかなる商業目的の使用あるいは記事としての使用ではないものも、明白に除外する。当資格証明の申請書に署名することにより、貴方はLPGAが、当規制のライセンスにおいて貴方が撮影し後に第三者へ使用許可を与えたり販売したり、あるいは貴方が写真の使用許可を与えたり販売することで個人のプライバシーや広報の権利が侵害されることに対して、全ての法的救済を追求することになる可能性のある写真に写っている当事者の代理人とみなされることを理解し合意する。
- e. LPGA写真フォトグラファーメディア資格証明は譲渡不可であり、万一当規制のいかなる条項でも不履行になった場合、フォトグラファーと事業体とに与えられた権利と特権は無効的に解約される。LPGAはいつでも独自の判断で、当資格証明及び/あるいはここに与えられた権利を無効にすることが出来る。LPGA写真フォトグラファーメディア資格証明の無認可の使用は、犯したフォトグラファー及び/あるいは事業体に対して、イベントからの放逐、資格証明の無効、将来のLPGAイベントへのアクセス拒否、刑事上不法侵入及び法のもとで可能な法的救済への起訴の対象となる。
- f. LPGA写真フォトグラファーメディア資格証明規則の他のいかなる条項にもかかわらず、メディア局/社などのLPGAのイベントへも彼らのアクセスに準じて作成した記事は、無制限の編集使用をすることも出来る。

3. 許容される撮影場所&行動

- a. 全てのフォトグラファーは、選手から出来るだけの距離を置き、選手や試合の視界を直接遮らないアングルで撮影しなければならない。各フォトグラファーは選手がスイングまたはストロークを終えるまで、撮影を控えなければならない。これはグループの各選手に対して適応されることである。グリーンで作業を行う時は、どのフォトグラファーも選手のバッティングラインに直接かぶる位置についてはならない。
- b. 試合中いかなるフォトグラファーにもロープ内へのアクセスのために腕章が必要である。もしロープ内に入ることを許可されたら、フォトグラファーはいかなる時でも観客を仕切るロープから（2）フィート（約60センチ）以上離れていることを条件に上述の場所へのアクセスを許可する腕章が与えられ、アシスタントは全員ロープの外側に残らなければならない。
- c. ゴルフカートはいかなる時も使用が禁止されている。
- d. LPGA写真フォトグラファーメディア資格証明を与えられたフォトグラファーは、LPGAのイベント開催中、メディアセンター、トーナメントコース、練習場へのアクセスが与えられ得る。各フォトグラファーは：(i)準備進行係、ボランティア、トーナメントの職員の指示に従わなければならない、(ii)プレイエリアを歩いたり立ってはいけない、(iii)プレイ中に選手に近づいたり質問したり、インタビューを要請してはいけない、(iv)選手がチェックし、署名し、スコアカードを適切な審判官に戻し、スコアリングエリアを離れるまで、9番あるいは18番ホールで選手に近づいてはいけない、(v)いかなる時もスコアリングテントに近づいてはいけない、(vi)練習中、チッピングあるいはバッティングエリアに歩いたり立ってはいけない。

4. 危険負担の認諾

- a. 各フォトグラファーと事業体は、実際の試合の前、試合中、試合後にゴルフの競技に付随して起こり得る全てのリスクと危険の負担を認諾する。各フォトグラファーと事業体は、さらにLPGA及びLPGAのイベント、それぞれの従業員、メンバー、ディレクター、オフィサー、開催地、選手権のスポンサー、主催者の団体、参加選手、及び全てのエージェントに対し、LPGAのイベントへのアクセスに関連した傷害、個人所有物あるいは機材の損失から結果的に発生し得る全ての責任を免除する。
- b. 各フォトグラファーと事業体はLPGAを免責し、LPGA、その従業員、選手、オフィサー、ディレクター、エージェント、及び各LPGAのイベントに対し、当規制の、特に当規制2(a)(e)の不履行を含む上述のフォトグラファー及び/あるいは事業体によってなされたと称される不作為に関連して発生するいかなる請求、行為、損害、賠償責任、費用あるいは代価（妥当な弁護士料、訴訟あるいは仲裁にかかる費用を含む）からの免責にも合意する。保障者としてフォトグラファー及び/あるいは事業体に対して責任が発生する可能性のあるいかなる請求に対しても、LPGAは(i). 上述の請求の訴訟に、フォトグラファー及び事業体の費用で保障者であるフォトグラファー及び/あるいは事業体によって選任され、LPGAが承認した弁護士と共に、完全に参加する権利を有する(ii). 上述の請求の解決には同意なく参加する義務を負わない。